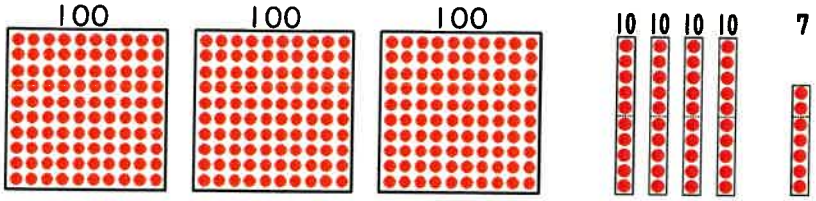
◎ 10や100のまとまりに着目して，100をこえる数の数え方やよみ方を理解する。

23	基本	1000までの 数	100を こえる 数	学習日	／

1 ミニトマトの 数は 何こ ありますか。 (10点×3)



(1) 10の まとまりが 10こで いくつですか。

〔 100 〕

(2) 100の まとまりが 3こで いくつですか。

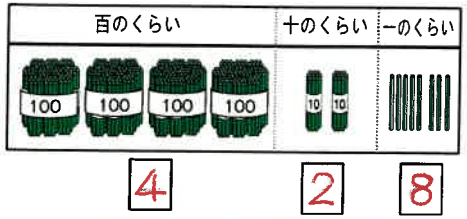
〔 300 〕

(3) ミニトマトの 数は，100の まとまりが 3こと，10の まとまりが 4こと，ばらが 7こでした。ミニトマトは 何こ ありましたか。

〔 347こ 〕

100を 3こ あつめた 数を 三百（さんびゃく）と いいます。
三百と 四十七で，三百四十七（さんびゃくよんじゅうなな）と いいます。

2 □に あてはまる 数を 書きましょう。 (10点)



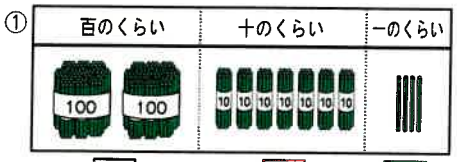
〔 四百 二十 八 〕

428は，
100を 4 こ
10を 2 こ
1を 8 こ
あわせた 数です。

◎ 3位数について，十進位取り記数法にもとづいて，数の構成を考え，説明する。

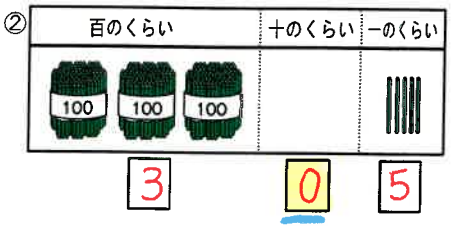
3 □に あてはまる 数を 書きましょう。 (5点×2)

①



〔 二百七十四 〕

②



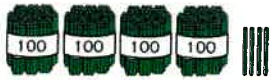
〔 三百五 〕

4 つぎの 数を 数字で 書きましょう。 (5点×6)

①
〔 231 〕

② 百七十三 〔 173 〕

③ 六百二十八 〔 628 〕

④ 
〔 404 〕

⑤ 九百五十 〔 950 〕

⑥ 三百六 〔 306 〕

5 つぎの 数を 数字で 書きましょう。 (5点×2)

(1) 100を 2こ，10を 7こ，1を 3こ あわせた 数は いくつですか。

〔 273 〕

(2) 100を 5こ，10を 9こ あわせた 数は いくつですか。

〔 590 〕

6 □に あてはまる 数を 書きましょう。 (5点×2)

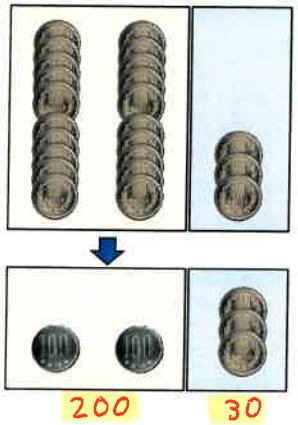
(1) 714は，100を 7 こ，10を 1 こ，1を 4 こ あわせた 数です。

(2) 206は，100を 2 こ，1を 6 こ あわせた 数です。

◎ 10を単位として、そのいくつ分になるかを考え、数の相対的な大きさをとらえる。

24	基本	1000までの 数	10が いくつ ・ 千	学習日	／

1 10を 23こ あつめた 数を 考(かんが)えます。□に あてはまる 数を かきましょう。 (5点×3)

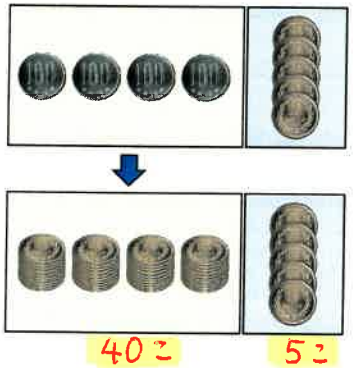


10が 20こで 200

10が 3こで 30

あわせて 230

2 450は 10を何こ あつめた 数ですか。□に あてはまる 数を かきましょう。 (5点×3)



400は 10が 40 こ

50は 10が 5 こ

あわせて 45 こ

3 □に あてはまる 数を かきましょう。 (5点×4)

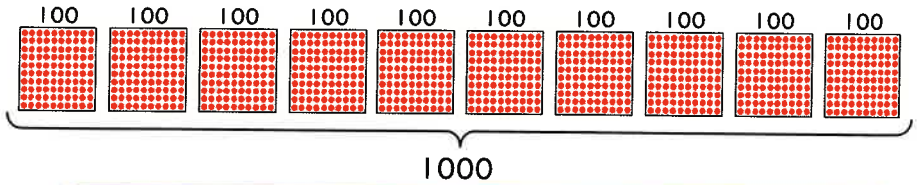
(1) 10を 70こ あつめた 数は 700 です。

(2) 10を 52こ あつめた 数は 520 です。

(3) 800は 10を 80 こ あつめた 数です。

(4) 390は 10を 39 こ あつめた 数です。

◎ 数直線の目盛りの大きさに着目し、1000までの数の系列や順序を理解する。



100を 10こ あつめた 数を 千(かず)(せん)と いいます。千は 1000と かきます。

4 □に あてはまる 数を かきましょう。 (4点×5)

(1) 1000より 1 小さい 数は 999 です。

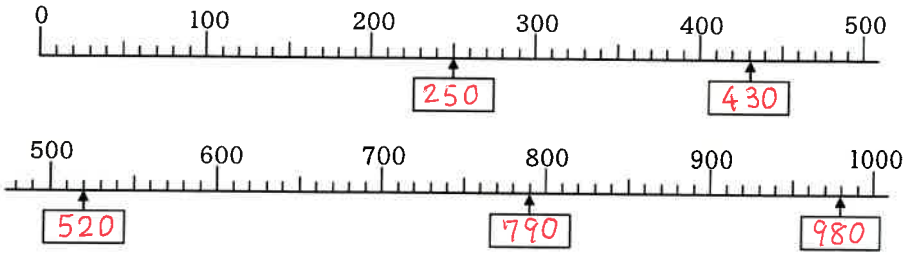
(2) 900より 100 大きい 数は 1000です。

(3) 1000は 999 の つぎの 数です。

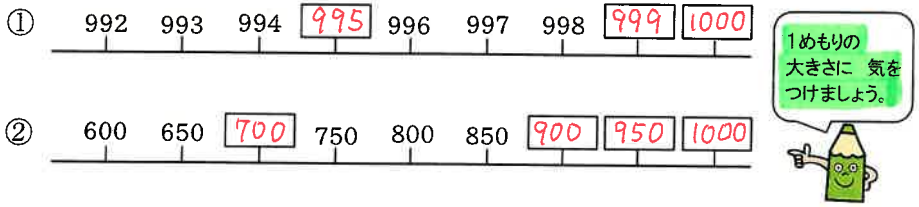
(4) 1000は 10を 100 こ あつめた 数です。

(5) 990より 10 大きい 数は 1000です。

5 □に あてはまる 数を かきましょう。 (4点×5)



6 □に あてはまる 数を かきましょう。 (5点×2)



◎十進位取り記数法の仕組みをもとに考え，3位数の大小を比較する。

25	基本	1000までの 数	数の 大小／れんしゅう	学習日	／

1 赤組・白組・青組で，うんどうかいをしました。とくてんは 右の 表の ようになりました。

とく点

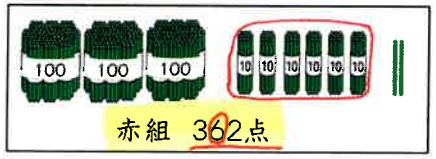
赤組	白組	青組
362	296	380

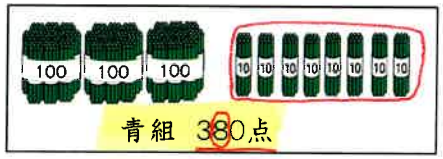
(1) 赤組と 白組で，とく点を くらべましょう。 (4点×2)

赤組と 白組で，とく点が 多いのは どちらですか。また，それは 何の くらいを見れば わかりますか。

〔 赤 組 〕 〔 百（100） のくらいを見ればわかる 〕

(2) 赤組と 青組で，とく点を くらべましょう。 (4点×2)





赤組と 青組で，とく点が 多いのは どちらですか。また，それは 何の くらいを見れば わかりますか。

〔 青 組 〕 〔 十（10） のくらいを見ればわかる 〕

数の 大小は，つぎのように あらわします。
362は 296より 大きい → 362＞296
362は 380より 小さい → 362＞380

大＞小
小＜大

(3) 2つの 数を くらべて，＞か ＜を かきましょう。 (4点×3)

① 836 ＞ 794　② 609 ＜ 623　③ 920 ＜ 925

大きいくらいからくらべていきましょう。

◎復習問題

2 つぎの 数を 数字で 書きましょう。 (4点×6)

① 四百八十二 〔 482 〕
② 二百九十 〔 390 〕
③ 五百二十 〔 520 〕
④ 八百八 〔 808 〕
⑤ 七百三 〔 703 〕
⑥ 九百 〔 900 〕

3 つぎの 数を 数字で 書きましょう。 (4点×4)

(1) 600と 40と 7を あわせた 数 〔 647 〕
(2) 300と 8を あわせた 数 〔 308 〕
(3) 10を 51こ あつめた 数 〔 510 〕
(4) 10を 40こ あつめた 数 〔 400 〕

10が10こで100だから，10が50こで500です。あと10が1こで10。ぜんぶで510です。

4 □に あてはまる 数を 書きましょう。 (4点×4)

(1) 946は，100を 9 こ，10を 4 こ，1を 6 こ あわせた 数です。
(2) 508は，100を 5 こ，1を 8 こ あわせた 数です。
(3) 170は 10を 17 こ あつめた 数です。 10が10こと10が7こです。
(4) 700は 10を 70 こ あつめた 数です。

5 □に あてはまる 数を かきましょう。 (2点×4)

580 590 600 610 620 630 640 650 660

6 あと いくつで 1000に なりますか。 (2点×4)

(1) 700 〔 300 〕 あと100が3つ
(2) 998 〔 2 〕 あと1が2つ
(3) 980 〔 20 〕 あと10が2つ
(1) 950 〔 50 〕 あと10が5つ

◎ 10を単位とする簡単なたし算とひき算ができる。

26	基本	1000までの 数	たし算と ひき算	学習日	／

1 おかしやさんに いきました。ラムネと ガムを 買うと，何円に なりますか。

ひっ算を しなくても 計算が できるよ。
●を つかって 考えてみよう！

ラムネ 80円

ガム 30円

□に あてはまる 数を 書きましょう。 (4点×3)

●で 考えると，●が 8こと 3こで 11こです。

(しき) 80＋30＝110 こたえ 110円

2 いちかさんは 130円 もっています。80円の けしゴムを 買うと，何円のこりますか。

□に あてはまる 数を 書きましょう。 (4点×3)

13この●から 8こととると，●が 5こです。

(しき) 130－80＝50 こたえ 50円

3 次の けい算を しましょう。 (2点×12)

① 90＋20＝110 ② 80＋40＝120 ③ 50＋70＝120

④ 60＋90＝150 ⑤ 70＋80＝150 ⑥ 80＋90＝170

⑦ 120－80＝40 ⑧ 170－90＝80 ⑨ 140－70＝70

⑩ 150－60＝90 ⑪ 110－50＝60 ⑫ 130－80＝50

◎ 100を単位とする簡単な たし算とひき算ができる。

4 文ぼうぐやさんに いきました。のりと はさみを 買うと，何円に なりますか。

100を つかって 考えてみよう！

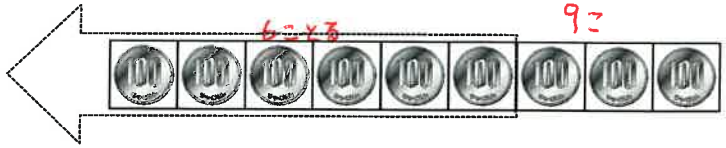
のり 300円 はさみ 400円

□に あてはまる 数を 書きましょう。 (4点×3)

100で 考えると，100が 3こと 4こで 7こです。

(しき) 300＋400＝700 こたえ 700円

5 ひろとさんは 900円 もっています。600円の ケーキを 買うと，何円のこりますか。



□に あてはまる 数を 書きましょう。 (4点×3)

9この100から 6こととると，100が 3こです。

(しき) 900－600＝300 こたえ 300円

6 次の けい算を しましょう。 (2点×14)

① 500＋100＝600 ② 400＋400＝800 ③ 300＋600＝900

④ 200＋500＝700 ⑤ 500＋500＝1000 ⑥ 300＋700＝1000

⑦ 400－300＝100 ⑧ 700－400＝300 ⑨ 900－200＝700

⑩ 800－100＝700 ⑪ 600－500＝100 ⑫ 500－500＝0

⑬ 1000－300＝700 ⑭ 1000－800＝200

◎ かさの比べ方を考えることを通して，普遍単位の必要性に気づく。

27	基本	か　さ	リットル	学習日	／

1 バケツに 入る 水の かさは、どちらが 多いか かんがえましょう。 (10点×4)

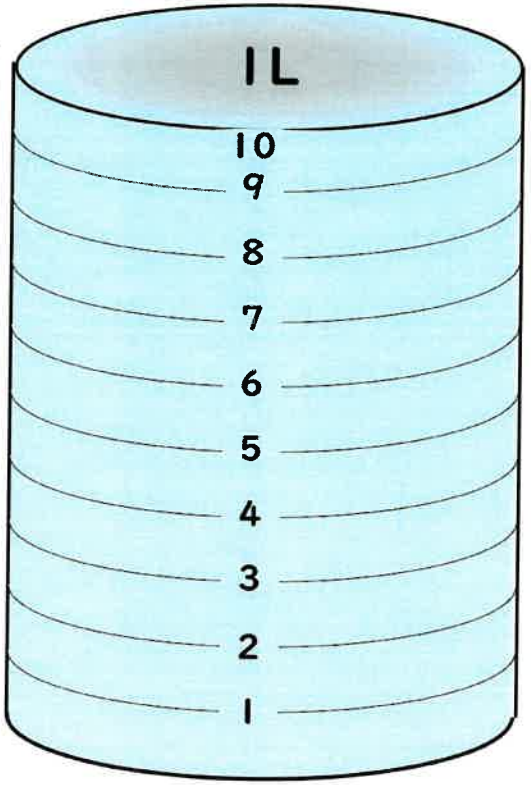
(1) □に 数を 入れ、あてはまる ほうを ○で かこみましょう。

青い バケツは，ペットボトル [5] 本分で，赤い バケツはペットボトル [4] 本分ですが，ペットボトルの [かたち・大きさ]が ちがうから，どちらの 水の かさが 多いかは わかりません。

水などの かさは，ますで はかります。
右の ますは，1L ますです。
1L は「1リットル」と よみます。
L は かさの たんいです。

1L 下を なぞろう！

L L L L



◎ 1Lますを使ってかさをはかり，1Lのいくつ分でかさを表すことができる。

(2) 青い バケツに はいる 水の かさは，1L の 5つ分でした。何 L ですか。

（ 5 L ）

(3) 赤い バケツに はいる 水の かさは，1L の 6つ分でした。何 L ですか。

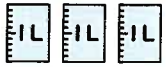
（ 6 L ）

(4) バケツに はいる 水の かさは，どちらが どれだけ 多いですか。

（ 赤い バケツの ほうが 1 L 多い ）

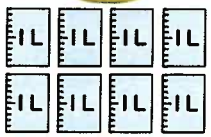
2 つぎの いれものに 入る 水の かさは 何 L ですか。 (10点×3)

(1)



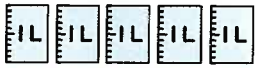
〔 3L 〕

(2)



〔 8L 〕

(3)



〔 5L 〕

3 青い バケツには 5L，きいろい バケツには 8L の 水が 入っています。 (15点×2)

(1) 水は あわせて 何L ありますか。

（しき） 5 + 8 = 13 (L)

こたえ（ 13 L ）

(2) 水は どちらの バケツの ほうが どれだけ 多く 入っていますか。

（しき） 8 − 5 = 3 (L)

こたえ（ きいろい バケツの ほうが 3 L 多く 入っている ）

◎ かさの単位 dLについて知り，1dLのいくつ分でかさを表すことができる。

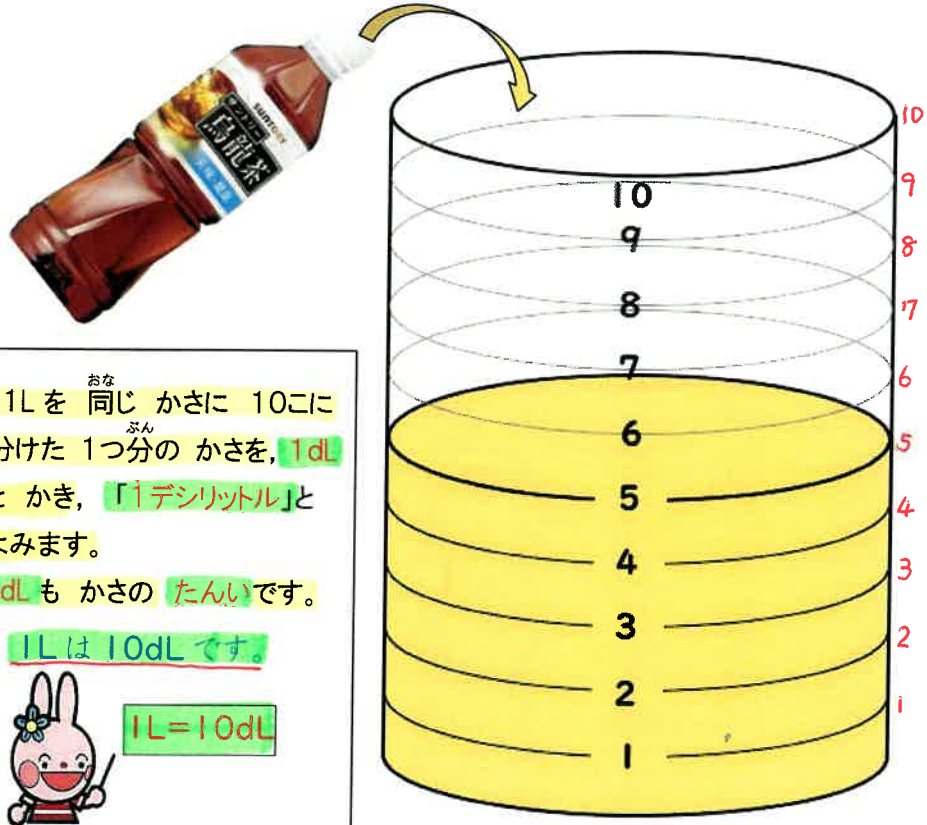
28	基本	かさ	リットルと デシリットル ①	学習日	／

1 ペットボトルに 入る おちゃの かさを，1Lますで はかってみました。(10点×4)

(1) □に 数を 入れ、あてはまる ほうを ○で かこみましょう。

ペットボトルの おちゃの かさは，1Lより [小さい・大きい]ので，1Lますの 目もりを よみます。1Lますには，目もりが 10 こ ついています。

おちゃの かさは， 5 つめの 目もりまで はいっています。



1Lを 同じ かさに 10こに 分けた 1つ分の かさを，1dL と かき，「1デシリットル」と よみます。

dL も かさの たんいです。

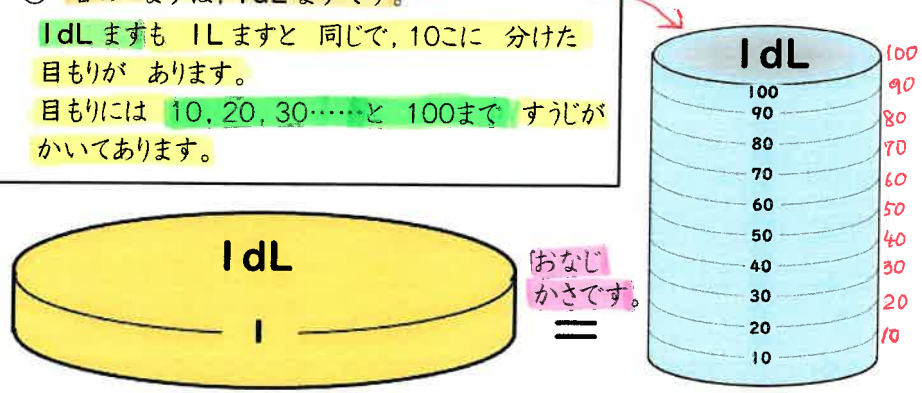
1Lは10dLです。

1L=10dL

1dL を なぞろう！ dL dL dL dL

◎ LとdLの関係を理解する。

◎ 右の ますは，1dLますです。
1dLますも 1Lますと 同じで，10こに 分けた 目もりが あります。
目もりには 10，20，30……と 100まで すうじが かいてあります。



(2) おちゃの かさは，1dLの 5つ分でした。何dLですか。（ 5 dL ）

2 つぎの 水の かさは 何dLですか。 (10点×2)

(1)

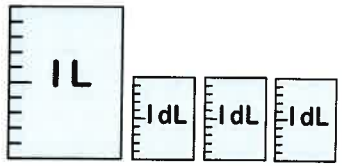
〔 6 dL 〕

(2)

〔 8 dL 〕

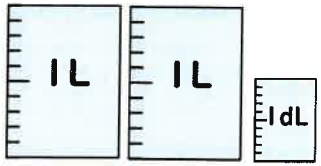
3 つぎの 水の かさは 何L何dLですか。 (10点×2)

(1)



〔 1 L 3 dL 〕

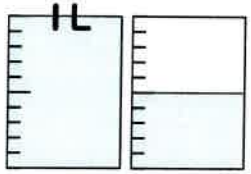
(2)



〔 2 L 1 dL 〕

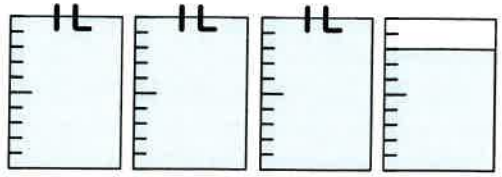
4 つぎの 水の かさは 何L何dLですか。 (10点×2)

(1)



〔 1 L 5 dL 〕

(2)



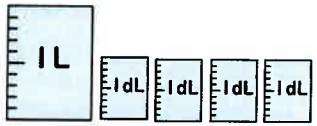
〔 3 L 8 dL 〕

◎ 1L＝10dLであることを理解し，かさをLとdLを用いて表すことができる。

29	基本	かさ	リットルと デシリットル ②	学習日	／

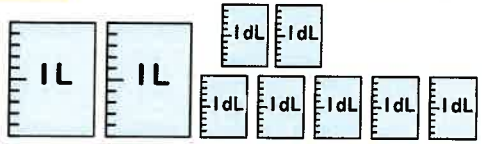
1 つぎの 水の かさは 何L何dLですか。 (5点×2)

(1)



〔 1 L 4 dL 〕

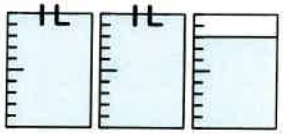
(2)



〔 2 L 7 dL 〕

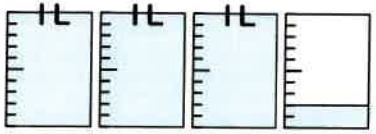
2 つぎの 水の かさは どれだけですか。 (5点×2)

(1)



〔 2 L 8 dL 〕

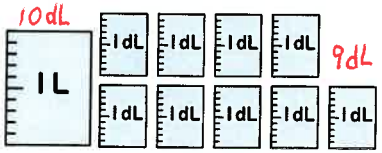
(2)



〔 3 L 2 dL 〕

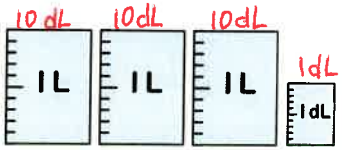
3 つぎの 水の かさは 何dLですか。 (5点×2)

(1)



〔 19 dL 〕

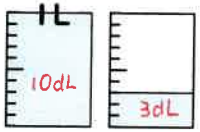
(2)



〔 31 dL 〕

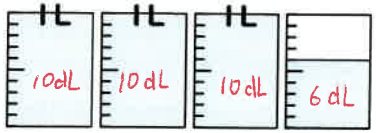
4 つぎの 水の かさは どれだけですか。 (5点×4)

(1)



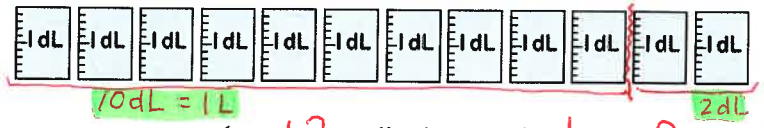
〔 13 dL 〕

(2)



〔 36 dL 〕

(3)



〔 12 dL 〕 〔 1 L 2 dL 〕

◎ LとdLの関係を理解し，単位を変換したりたしたり引いたりできる。

5 □に あてはまる 数を かきましょう。 (3点×10)

(1) 1L＝10 dL

(2) 9L＝90 dL　10dLを9つ分

(3) 1L4dL＝14 dL　10dLと4dL

(4) 6L7dL 67＝dL　10dLを6つ分と7dL

(5) 10dL＝1 L

(6) 60dL＝6 L

(7) 52dL＝5 L 2 dL

(8) 97dL＝9 L 7 dL

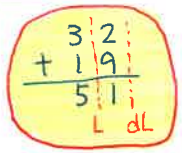
(9) 10L＝100 dL

(10) 300dL＝3 L

6 水が やかんに 32dL，ポットに 19dL 入っています。 (5点×4)

(1) 水は あわせて 何dL ありますか。また それは，何L 何dLですか。

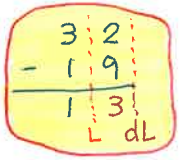
(しき) 32(dL)＋19(dL)＝51(dL)



こたえ（ 51 dL ），（ 5 L 1 dL ）

(2) やかんのほうが 何dL 多く 入っていますか。また それは，何L 何dLですか。

(しき) 32(dL)－19(dL)＝13(dL)

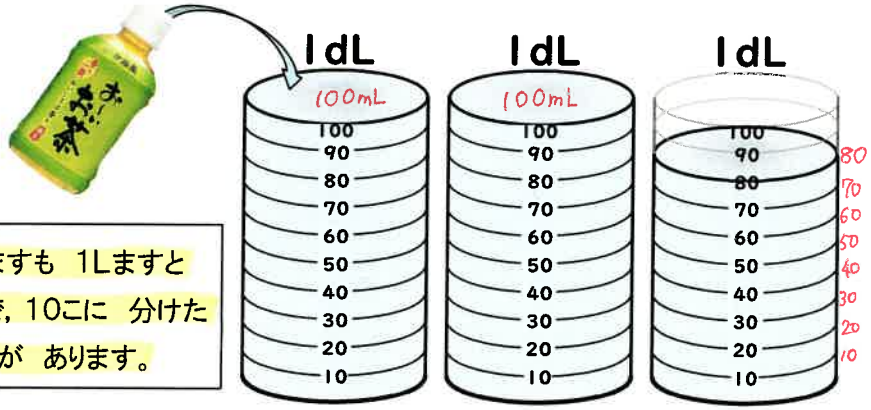


こたえ（ 13 dL ），（ 1 L 3 dL ）

◎ 単位 mL を知り，mL と dL，mL と L の関係を理解する。

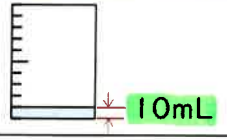
30	基本	か　さ	ミリリットル／かさの たんい	学習日	／

1 入れものに 入(はい)る 水の かさを しらべましょう。 (10点)



1dますも 1Lますと 同じで，10こに 分けた 目もりが あります。

dL より 小さい かさの たんいに mL（ミリリットル）が あります。
1dL を 同じ かさに 10こに 分けた 1つ分が 10mL です。
1dL は 100mL です。
1dL＝100mL



1mL を なぞろう！ mL mL mL mL

（もんだい） ペットボトルの おちゃは，何mL ですか。

こたえ（ 280 mL ）

2 □に あてはまる 数を かきましょう。 おぼえよう！ (5点×4)

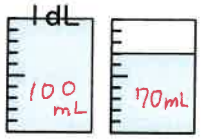
(1) 1L＝ 10 dL　　(2) 1dL＝ 100 mL

(3) 1L＝ 1000 mL　　(4) 1L5dL＝ 1500 mL

◎ 1L の量感をもとにして，身のまわりの いれものの かさを 見当づける。

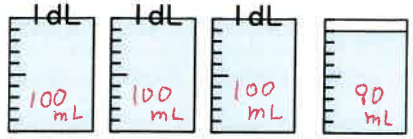
3 つぎの 水の かさは どれだけですか。 (5点×4)

(1)



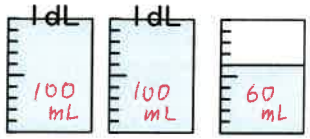
〔 170 mL 〕

(2)



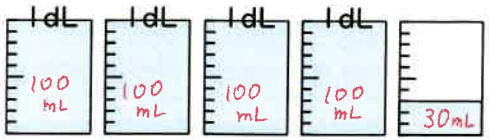
〔 390 mL 〕

(3)



〔 260 mL 〕

(4)



〔 430 mL 〕

4 □に あてはまる かさの たんいを かきましょう。 (5点×4)

(1) コップに はいる 水の かさ …… 200 mL

(2) バケツに はいる 水の かさ …… 12 L

(3) ポットに はいる 水の かさ …… 18 dL

(4) おふろに はいる 水の かさ …… 350 L

むずかしいんは，図を見ながらやってください。

5 □に あてはまる 数を かきましょう。 (5点×6)

1L＝10dL

(1) 1L7dL＝ 17 dL
10dLと7dL

(2) 41dL＝ 4 L 1 dL
1L＝10dL

(3) 2dL＝ 200 mL
1dL＝100mL

(4) 3600mL＝ 3 L 6 dL
1000mL＝1L，100mL＝1dL

(5) 5dL70mL＝ 570 mL
1dL＝100mL

(6) 6L50mL＝ 6050 mL
1L＝1000mL

◎ 簡単なかさのたし算やひき算の計算ができる。

31	基本	か　さ	かさの　計算	学習日	／

1 こうちゃの　かさと，ミックスジュースの　かさを　くらべて　みましょう。 (10点×2)

(1) こうちゃの　かさは　あわせて　どれだけですか。

(しき)

1L5dL＋1L＝2L5dL

こたえ（ 2 L 5 dL ）

(2) こうちゃの　かさと，ミックスジュースの　かさの　ちがいは　どれだけですか。

(しき) 2L5dL－5dL＝2L

(1)より

こたえ（ 2 L ）

2 つぎの　けいさんを　しましょう。 (3点×10)

(1) 2L5dL+3dL＝2L8dL (28dL)

(2) 3L2dL+4L＝7L2dL (72dL)

(3) 1L8dL+2dL＝2L (20dL)

(4) 7dL+5L3dL＝6L (60dL)

(5) 4L6dL−5dL＝4L1dL (41dL)

(6) 9L7dL−4dL＝9L3dL (93dL)

(7) 8L3dL−2L＝6L3dL (63dL)

(8) 6L1dL−3L＝3L1dL (31dL)

(9) 7L9dL−9dL＝7L (70dL)

(10) 5L4dL−5L＝4dL

◎ かさの文章題（基本～応用）

3 すいそうに　水が　7L　はいっています。そこへ　2L5dL の　水を　入れます。水は　何L何dLに　なりますか。 (10点)

(しき) 7L＋2L5dL＝9L5dL

こたえ（ 9L5dL ）

4 1L5dL　はいる　水とうに，おちゃを　8dL　いれました。おちゃは　あと　何dL　はいりますか。 (10点)

(しき) 1L5dL－8dL＝7dL

こたえ（ 7dL ）

5 りんごジュースが　2L2dL，オレンジジュースが　5dLあります。ジュースは　あわせて　何L何dL　ありますか。 (10点)

(しき) 2L2dL＋5dL＝2L7dL

こたえ（ 2L7dL ）

6 おちゃが　1L　あります。300mL　のむと，のこりは　何mLに　なりますか。 (10点)

(しき) 1L－300mL＝700mL

こたえ（ 700mL ）

7 ポットに　おゆが　2L　はいっています。わたしが　5dL，おとうとが　4dL　つかいました。おゆは　何L何dL　のこっていますか。　また　それは　何mLですか。 (10点)

(しき) 2L－5dL－4dL＝1L1dL

1L1dL＝1100mL

1000mLと100mL

こたえ（ 1 L 1 dL），（ 1100 mL ）

◎根拠にもとづいて，たし算やひき算の演算決定ができる。

32	基本	かくれた 数は いくつ	ふえたのは いくつ へったのは いくつ	学習日	／

1 男の子が 22人，女の子が 24人 あつまって，おり紙を おっています。ぜんぶで 何人 いますか。 （10点×2）

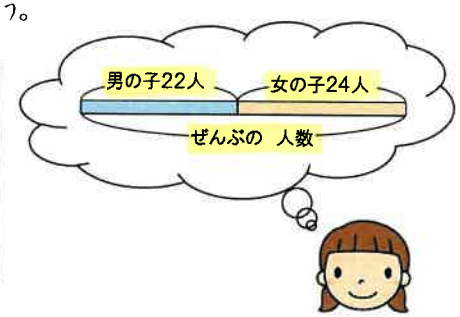
(1) しきに かいて，答えを もとめましょう。

（しき） 22 ＋ 24 ＝ 46

こたえ 46 人

(2) (1)の しきに なる わけを かきましょう。

22＋24に なる わけは，
男の子が 22人 いて
女の子が 24人 いて
あわせる からです。



2 花だんに 赤い花が 47こ，白い 花が 52こ さいています。花は ぜんぶで 何こ さいていますか。 （15点×2）

(1) しきに かいて，答えを もとめましょう。

47
＋52
99

（しき） 47 ＋ 52 ＝ 99（こ）

こたえ〔 99 こ 〕

(2) (1)の しきに なる わけを かきましょう。

47＋52に なる わけは，赤い花 47こと，
白い花 52こを あわせるからです。

3 おりがみで つるを 54こ，しゅりけんを 38こ つくりました。つるの ほうを 何こ 多く つくりましたか。 （10点×2）

(1) しきに かいて，答えを もとめましょう。

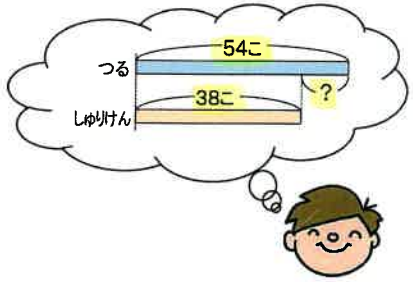
（しき） 54 － 38 ＝ 16（こ）

54
－38
16

こたえ 16 こ

(2) (1)の しきに なる わけを かきましょう。

54－38に なる わけは，
つるを 54 こ つくって
しゅりけんを 38 こ つくって
ちがい を もとめるからです。



4 おかしを 買いました。ガムは 69円で，ラムネは 82円でした。ラムネの ほうが 何円 たかかったでしょうか。 （15点×2）

(1) しきに かいて，答えを もとめましょう。

82
－69
13

（しき） 82－69＝13（円）

こたえ〔 13 円 〕

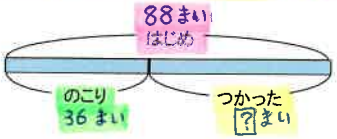
(2) (1)の しきに なる わけを かきましょう。

82－69になる わけは，ラムネが82円で
ガムが69円で，その ちがいを もとめるから
です。

◎ 根拠にもとづいて，たし算やひき算の演算決定をすることができる。

33	基本	どんな 計算に なるのかな (1)	いろんな 文しょうもんだい	学習日	／

1 はじめに 色紙が 88まい ありました。何まいか つかったら、36まい のこりました。何まい つかいましたか。 (10点)

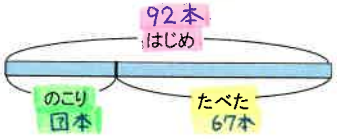


（しき）
88 − 36 = 52（まい）

88
− 36
52

こたえ〔 52まい 〕

2 おかしを 92本（ほん） もらいました。いままでに 67本 たべました。おかしは あと何本 のこっていますか。 (10点)

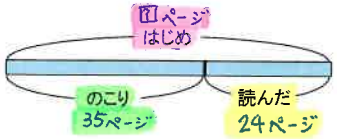


（しき）
92 − 67 = 25（本）

92
− 67
25

こたえ〔 25本 〕

3 本を 読（よ）んでいます。いままでに 24ページ 読みましたが、まだ 35ページ のこっています。この本は ぜんぶで 何ページ ありますか。 (15点)

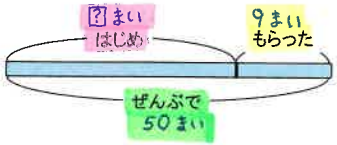


（しき） 35 + 24 = 59（ページ）
または（24 + 35 = 59）

35
+ 24
59

こたえ〔 59ページ 〕

4 シールを あつめています。きょう ともだちから 9まい もらったので、ぜんぶで 50まいに なりました。いままでに 何まい もっていましたか。 (15点)



（しき）
50 − 9 = 41（まい）

50
− 9
41

こたえ〔 41まい 〕

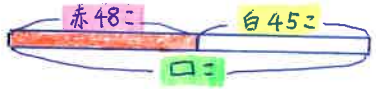
5 アメが 61こ あります。お父（とう）さんから 何こか もらったので、ぜんぶで 74こに なりました。お父さんから 何こ もらいましたか。 (10点)

（しき）
74 − 61 = 13（こ）

74
− 61
13

こたえ〔 13こ 〕

6 赤い 花が 48こ、白い 花が 45こ さいています。花は ぜんぶで 何こ さいていますか。 (10点)



（しき）
48 + 45 = 93（こ）

48
+ 45
93

こたえ〔 93こ 〕

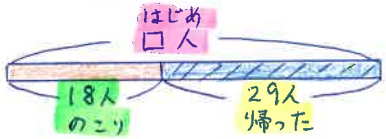
7 90円 もって 買（か）いものに いきました。ガムを 買うと、のこりが 35円に なっていました。ガムの ねだんは 何円でしたか。 (10点)

（しき）
90 − 35 = 55（円）

90
− 35
55

こたえ〔 55円 〕

8 うんどうじょうで せいとが あそんでいます。29人 帰（かえ）ったのですが、まだ 18人 のこっています。せいとは はじめに 何人 いましたか。 (10点)



（しき）
18 + 29 = 47（人）

18
+ 29
47

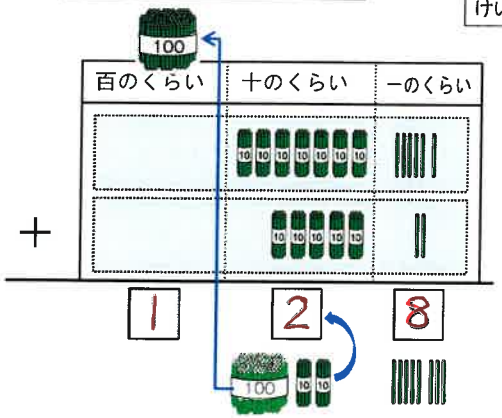
こたえ〔 47人 〕

◎（2位数）＋（2位数）で十の位に繰り上がりのある筆算ができる。

34	基本	たし算の ひっ算(2)	たし算(十の位に繰り上がりなし)	学習日	／

1 76本の えんぴつと、52本の えんぴつを 合わせます。えんぴつは ぜんぶで何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。 （14点）

（しき） 76＋52



76＋52の けい算を たてに ならべて けい算 しましょう。

	7	6
＋	5	2
1	2	8

計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは、 6＋2＝8

十の くらいは、 7＋5＝12

百の くらいに、 1 くり上げる。

こたえは 76＋52＝128

2 つぎの たし算を ひっ算で しましょう。 （3点×4）

(1) 84＋53

	8	4
＋	5	3
1	3	7

(2) 67＋92

	6	7
＋	9	2
1	5	9

(3) 40＋75

	4	0
＋	7	5
1	1	5

(4) 96＋80

	9	6
＋	8	0
1	7	6

3 つぎの たし算を しましょう。 （3点×8）

(1)
　7 1
＋ 4 2
1 1 3

(2)
　5 5
＋ 8 4
1 3 9

(3)
　8 2
＋ 3 6
1 1 8

(4)
　2 3
＋ 9 1
1 1 4

(5)
　5 0
＋ 8 7
1 3 7

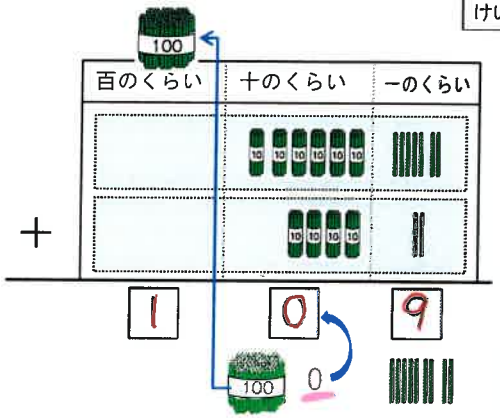
(6)
　9 0
＋ 7 5
1 6 5

(7)
　6 4
＋ 6 0
1 2 4

(8)
　7 0
＋ 4 0
1 1 0

4 67本の えんぴつと、42本の えんぴつを 合わせます。えんぴつは ぜんぶで何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。 （14点）

（しき） 67＋42



67＋42の けい算を たてに ならべて けい算 しましょう。

	6	7
＋	4	2
1	0	9

計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは、 7＋2＝9

十の くらいは、 6＋4＝10

百の くらいに、 1 くり上げる。

こたえは 67＋42＝109

5 つぎの たし算を ひっ算で しましょう。 （3点×4）

(1) 25＋81

	2	5
＋	8	1
1	0	6

(2) 64＋43

	6	4
＋	4	3
1	0	7

(3) 97＋10

	9	7
＋	1	0
1	0	7

(4) 40＋63

	4	0
＋	6	3
1	0	3

6 つぎの たし算を しましょう。 （3点×8）

(1)
　5 4
＋ 5 2
1 0 6

(2)
　3 2
＋ 7 2
1 0 4

(3)
　7 3
＋ 3 4
1 0 7

(4)
　4 6
＋ 6 3
1 0 9

(5)
　2 0
＋ 8 5
1 0 5

(6)
　6 0
＋ 4 9
1 0 9

(7)
　5 5
＋ 5 0
1 0 5

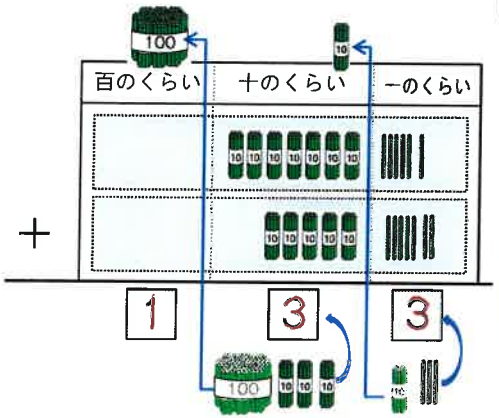
(8)
　3 0
＋ 7 0
1 0 0

◎（2位数）+（2位数）で答えが3桁になるたし算の筆算ができる。

35	基本	たし算の ひっ算(2)	たし算(十の位に繰り上がりあり)	学習日	／

1 76本の えんぴつと、57本の えんぴつを 合わせます。えんぴつは ぜんぶで 何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。（15点）

（しき） 76 + 57



76+57の けい算を たてに ならべて けい算 しましょう。

	7	6
+	5	7
1	3	3

計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは、6+7=13

十の くらいに、1 くり上げる。

十の くらいは、7+5+1=13

百の くらいに、1 くり上げる。

こたえは 76+57=133

2 つぎの たし算を ひっ算で しましょう。（5点×4）

(2) 69+73

	6	9
+	7	3
1	4	2

6+7+1=14で百のくらいに1くり上げる

9+3=12で十のくらいに1くりあげる。

(2) 85+17

	8	5
+	1	7
1	0	2

(3) 98+8

	9	8
+		8
1	0	6

(4) 4+96

		4
+	9	6
1	0	0

3 68円の けしゴムを 1こと、85円の えんぴつを 1本 買（か）います。何円（なん）はらえば よいでしょうか。しきと 答（こた）えと 計算（けいさん）を かきましょう。（5点×3）

（しき） 68 + 85 = 153（円）

（ひっ算）

	6	8
+	8	5
1	5	3

こたえ（ 153円 ）

4 つぎの たし算を しましょう。（3点×12）

(1) 83 + 59 = 142

(2) 74 + 58 = 132

(3) 69 + 47 = 116

(4) 95 + 85 = 180

(5) 37 + 68 = 105

(6) 84 + 19 = 103

(7) 58 + 46 = 104

(8) 47 + 53 = 100

(9) 98 + 5 = 103

(10) 93 + 7 = 100

(11) 4 + 99 = 103

(12) 7 + 93 = 100

5 本が 本だなに 79さつと、リビングに 32さつ あります。本は ぜんぶで 何（なん）さつ ありますか。（7点）

（しき） 79 + 32 = 111（さつ）

	7	9
+	3	2
1	1	1

こたえ（ 111さつ ）

6 校ていに 子どもが 95人います。8人 来（く）ると ぜんぶで 何人に なりますか。（7点）

（しき） 95 + 8 = 103（人）

	9	5
+		8
1	0	3

こたえ（ 103人 ）

◎ 3口のたし算を筆算形式に表し、計算することができる。

36	基本	たし算の ひっ算(2)	3つの 数の たし算	学習日	／

1 グミと チョコと スナックを 買うと，何円に なりますか。 (8点＋10点)

(しき) 97＋65＋34

グミ 97円

チョコ 65円

スナック 34円

★ 3つの 数の ひっ算の しかたを 考えましょう。

	9	7
	6	5
＋	3	4
1	9	6

計算のしかた

◉ くらいを たてに そろえて かく。

一のくらいの計算

① 一の くらいは、7＋5＋4＝16

② 十の くらいに、1 くり上げる。

十のくらいの計算

十の くらいは、くり上げた 1 とで、9＋6＋3＋1＝19

百の くらいに、1 くり上げる。

こたえは 97＋65＋34＝196

くらいを そろえて たてに 3だんに かきます。

● つづいた 計算は、くふうを すると かんたんに なることが あります。
(れんしゅう) (3点×4)

(1) 7＋5＋4＝16

(2) 6＋8＋2＝16

(3) 9＋6＋3＋1＝19

(4) 2＋5＋8＋6＝21

2 つぎの たし算を ひっ算で しましょう。 (5点×4)

(1) 36＋21＋40

	3	6
	2	1
＋	4	0
	9	7

(2) 58＋69＋32

	5	8
	6	9
＋	3	2
1	5	9

(3) 16＋97＋68

	1	6
	9	7
＋	6	8
1	8	1

(4) 84＋47＋79

	8	4
	4	7
＋	7	9
2	1	0

3 つぎの たし算を しましょう。 (3点×12)

(1) 24＋30＋13＝67

(2) 75＋42＋61＝178

(3) 53＋94＋62＝209

(4) 80＋76＋83＝239

(5) 46＋27＋24＝97

(6) 39＋75＋51＝165

(7) 84＋58＋76＝218

(8) 65＋97＋98＝260

(9) 37＋16＋28＝81

(10) 45＋88＋66＝199

(11) 79＋68＋97＝244

(12) 87＋96＋78＝261

4 2年生は，1組(くみ)が 29人，2組が 28人，3組が 29人います。2年生は ぜんぶで 何人(なんにん) いますか。 (7点)

(しき) 29＋28＋29＝86(人)

29
28
＋29
86

こたえ(86人)

5 65円の えんぴつを 2本と，88円の けしゴムを 1こ 買(か)うと 何円に なりますか。 (7点)

(しき) 65＋65＋88＝218(円)

65
65
＋88
218

こたえ(218円)

◎(百何＋何)−(2位数)の筆算：百の位が繰り下がる計算ができる。

37	基本	ひき算の ひっ算(2)	ひき算（繰り下がりなし）（百の位が繰り下がる）	学習日	／

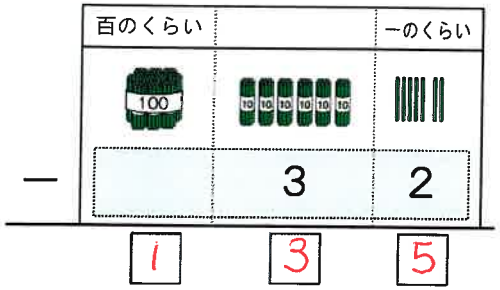
1 えんぴつを 167本 もっています。32本 つかうと のこりは 何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。（14点）

（しき）167 − 32

167−32を ひっ算で しましょう。

	1	6	7
−		3	2
	1	3	5

	百のくらい		一のくらい
	100	10 10 10 10 10 10	
−		3	2
	1	3	5



計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは、7 − 2 = 5

十の くらいは、6 − 3 = 3

百の くらいは、1 を おろす。

こたえは 167−32 = 135

2 つぎの ひき算を ひっ算で しましょう。（3点×4）

(1) 149 − 26　(2) 175 − 61　(3) 184 − 80　(4) 157 − 57

	1	4	9
−		2	6
	1	2	3

	1	7	5
−		6	1
	1	1	4

	1	8	4
−		8	0
	1	0	4

	1	5	7
−		5	7
	1	0	0

3 つぎの ひき算を しましょう。（3点×8）

(1) 168 − 42 = 126　(2) 193 − 21 = 172　(3) 177 − 13 = 164　(4) 189 − 34 = 155

(5) 135 − 31 = 104　(6) 196 − 92 = 104　(7) 128 − 20 = 108　(8) 143 − 43 = 100

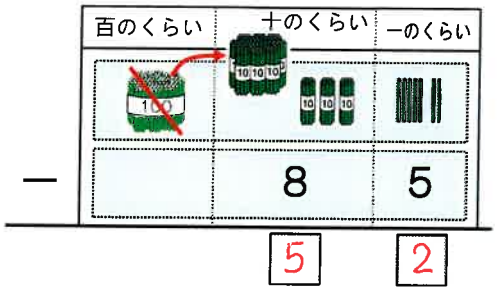
4 えんぴつを 137本 もっています。85本を おとうとに あげます。のこりは 何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。（14点）

（しき）137 − 85

137−85を ひっ算で しましょう。

	~~1~~	10 3	7
−		8	5
		5	2

	百のくらい	十のくらい	一のくらい
	100	10 10 10 10 10 10	
−		8	5
		5	2



計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは、7 − 5 = 2

十の くらいは ひけないので、

百のくらいから 1くりさげて 13

13 − 8 = 5

こたえは

137−85 = 52

5 つぎの ひき算を ひっ算で しましょう。（3点×4）

(1) 124 − 83　(2) 159 − 65　(3) 117 − 77　(4) 102 − 41

	~~1~~	10 2	4
−		8	3
		4	1

	~~1~~	10 5	9
−		6	5
		9	4

	~~1~~	10 1	7
−		7	7
		4	0

	~~1~~	10 0	2
−		4	1
		6	1

6 つぎの ひき算を しましょう。（3点×8）

(1) 143 − 91 = 52　(2) 116 − 65 = 51　(3) 138 − 72 = 66　(4) 157 − 83 = 74

(5) 179 − 99 = 80　(6) 105 − 12 = 93　(7) 104 − 84 = 20　(8) 108 − 95 = 13

⑩（百何十何）－（2位数）の筆算：十の位，百の位が繰り下がる計算ができる。

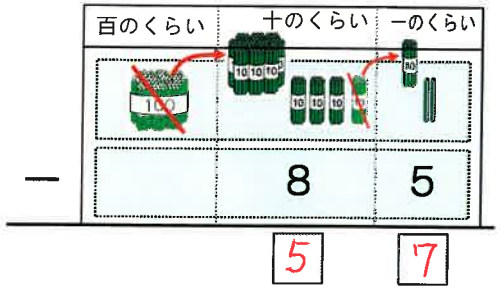
38	基本	ひき算の ひっ算(2)	ひき算（十の位・百の位が繰り下がる/0 がある）	学習日	／

1 えんぴつが 142本 あります。85本 つかうと のこりは 何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。（14点）

142－85を ひっ算で しましょう。

	~~1~~	~~4~~ 3	2 10
－		8	5
		5	7

（しき） 142 － 85



計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは ひけないので、十のくらいから 1くりさげて 12

12－5＝7

十の くらいも ひけないので、百のくらいから 1くりさげて 13

13－8＝5

こたえは 142－85＝57

2 つぎの ひき算を ひっ算で しましょう。（3点×4）

(1) 123－56

	~~1~~	~~2~~ 1	3 10
－		5	6
		6	7

(2) 151－83

	~~1~~	~~5~~ 4	1 10
－		8	3
		6	8

(3) 164－69

	~~1~~	~~6~~ 5	4 10
－		6	9
		9	5

(4) 177－78

	~~1~~	~~7~~ 6	7 10
－		7	8
		9	9

3 つぎの ひき算を しましょう。（3点×8）

(1) 134－65 = 69

(2) 115－47 = 68

(3) 182－98 = 84

(4) 143－56 = 87

(5) 127－29 = 98

(6) 136－37 = 99

(7) 181－84 = 97

(8) 193－96 = 97

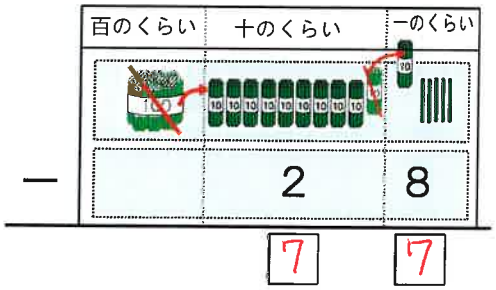
⑪（百何）－（2位数）で，繰り下がりが2桁におよぶ筆算ができる。

4 えんぴつが 105本 あります。28本 つかうと、のこりは 何本に なりますか。□に あてはまる しきや 数を かきましょう。（14点）

105－28を ひっ算で しましょう。

	~~1~~	0 9	5 10
－		2	8
		7	7

（しき） 105 － 28



計算のしかた

くらいを そろえて かく。

一の くらいは ひけないので、百のくらいから 十の位 一の位と くりさげて、

一の位は 15、十の位は 9となる。

一の位は 15－8＝7

十の位は 9－2＝7

こたえは 105－28＝77

5 つぎの ひき算を ひっ算で しましょう。（3点×4）

(1) 106－58

	~~1~~	0 9	6 10
－		5	8
		4	8

(2) 103－74

	~~1~~	0 9	3 10
－		7	4
		2	9

(3) 100－33

	~~1~~	0 9	0 10
－		3	3
		6	7

(4) 100－7

	~~1~~	0 9	0 10
－			7
		9	3

6 つぎの ひき算を しましょう。（3点×8）

(1) 107－89 = 18

(2) 101－45 = 56

(3) 108－19 = 89

(4) 102－4 = 98

(5) 100－92 = 8

(6) 100－73 = 27

(7) 100－5 = 95

(8) 100－8 = 92

◎（百何十何）－（2位数）の筆算：復習と混合した筆算

39	基本	ひき算の　ひっ算(2)	れんしゅう	学習日	／

1 つぎの　ひき算を　しましょう。（復習）　(1) → 順に計算しましょう。　（2点×12）

(1) 156 − 24 = 132
(2) 193 − 92 = 101
(3) 149 − 75 = 74
(4) 107 − 47 = 60
(5) 134 − 56 = 78
(6) 121 − 39 = 82
(7) 165 − 67 = 98
(8) 185 − 88 = 97
(9) 103 − 75 = 28
(10) 102 − 6 = 96
(11) 100 − 53 = 47
(12) 100 − 9 = 91

2はいろんなパターンがまぜてあります。

2 つぎの　ひき算を　しましょう。（混合）　おちついてやってね。　（2点×12）

(1) 172 − 36 = 136
(2) 108 − 73 = 35
(3) 159 − 54 = 105
(4) 194 − 62 = 132
(5) 163 − 48 = 115
(6) 184 − 53 = 131
(7) 105 − 87 = 18
(8) 143 − 15 = 128
(9) 113 − 68 = 45
(10) 107 − 79 = 28
(11) 160 − 49 = 111
(12) 101 − 32 = 69

3 あおいさんは，143－96の　計算の　まちがいを　下のように　せつめいしています。

143
− 96
57

くり下がりを　わすれています。
十の　くらいは
13－9＝4に　なります。

★ 161－78の　計算の　まちがいを　せつめいしましょう。　（13点）

161
− 78
93

くり下がりを わすれています。
十のくらいは 15－7＝8 になります。

4 1年生が　95人と，2年生が　112人います。どちらが　何人　多くいますか。（13点）

（しき）　112－95＝17（人）

	1	1	2
−		9	5
		1	7

こたえ〔 2年生が 17人 多くいます。（多い） 〕

5 65円の　えんぴつと　124円の　ボールペンが　あります。ちがいは　何円ですか。（13点）

（しき）　124－65＝59（円）

	1	2	4
−		6	5
		5	9

こたえ〔 59円 〕

6 色紙を　もらいました。かぞえると，ぜんぶで　152まい　ありました。きょうまでに　57まい　つかいました。あと　何まい　のこっていますか。（13点）

（しき）　152－57＝95（まい）

	1	5	2
−		5	7
		9	5

こたえ〔 95まい 〕

◎（3位数）＋（2位数）で，百の位に繰り上がらない筆算ができる。

40	基本	たし算と ひき算の ひっ算(2)	3けたの 数の ひっ算	学習日	／

1 つぎの 計算を ひっ算で しましょう。 （7点×2）

(1)

243＋39を
ひっ算で しましょう。

	2	4	3
＋		3	9
	2	8	2

くらいを そろえて かく。
一の くらいは、 3＋9＝12
十の くらいに、 1 くり上げる。
十の くらいは、 4＋3＋1＝8
百の くらいは、 2 をおろして、2

(2)

345－28を
ひっ算で しましょう。

	3	4	5
－		2	8
	3	1	7

くらいを そろえて かく。
一の くらいは、十のくらいから 1くり下げて 15
15－8＝7
十の くらいは、 3－2＝1
百の くらいは、 3 をおろして、3

2 つぎの たし算を しましょう。 （3点×12）

(1) 438 ＋ 41 ＝ 479
(2) 862 ＋ 35 ＝ 897
(3) 307 ＋ 21 ＝ 328
(4) 613 ＋ 70 ＝ 683
(5) 546 ＋ 6 ＝ 552
(6) 259 ＋ 4 ＝ 263
(7) 707 ＋ 9 ＝ 716
(8) 408 ＋ 2 ＝ 410
(9) 635 ＋ 47 ＝ 682
(10) 963 ＋ 19 ＝ 982
(11) 524 ＋ 68 ＝ 592
(12) 826 ＋ 54 ＝ 880

◎（3位数）－（2位数）で，百の位から繰り下がらない筆算ができる。

3 つぎの ひき算を しましょう。 （3点×12）

(1) 685 － 43 ＝ 642
(2) 378 － 76 ＝ 302
(3) 836 － 5 ＝ 831
(4) 793 － 3 ＝ 790
(5) 557 － 18 ＝ 539
(6) 964 － 37 ＝ 927
(7) 241 － 22 ＝ 219
(8) 482 － 56 ＝ 426
(9) 643 － 34 ＝ 609
(10) 796 － 89 ＝ 707
(11) 512 － 5 ＝ 507
(12) 810 － 7 ＝ 803

4 はるかさんの 学校には、せいとが 342人と、先生が 23人います。せいとと先生を 合わせると、何人いますか。 （7点）

（しき）
342＋23＝365（人）

	3	4	2
＋		2	3
	3	6	5

こたえ〔 365人 〕

5 色紙が 281まい あります。45まい つかうと、のこりは 何まいに なりますか。 （7点）

（しき）
281－45＝236（まい）

	2	8	1
－		4	5
	2	3	6

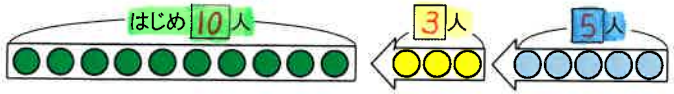
こたえ〔 236まい 〕

◎ 増増の場面について，順に考えたりまとめて考えたりする問題。

41	基本	図を使って考えよう(2)	まとめて　考えて	学習日	／

1 公園に　子どもが　10人　いました。そこへ　3人　来ました。　また　5人　来ました。　子どもは　何人に　なりましたか。　（10点×2）

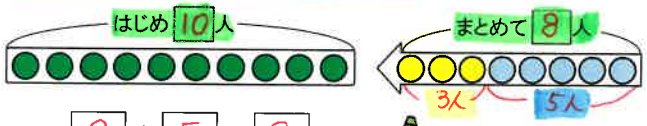
(1) 来た　じゅんに　考えて、もんだいを　ときましょう。



（しき）　10 ＋ 3 ＝ 13

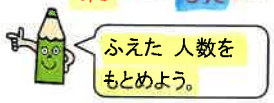
13 ＋ 5 ＝ 18　　こたえ 18 人

(2) 何人　ふえたかを　まとめて　考えて、もんだいを　ときましょう。



（しき）　3 ＋ 5 ＝ 8

10 ＋ 8 ＝ 18　　こたえ 18 人



2 すいそうに　金魚が　14ひき　いました。そこへ　8ひき　入れました。また、2ひき　入れました。金魚は　何びきに　なりましたか。　1の　2つの　考え方で　もとめましょう。　（15点×2）

(1) じゅんに　たして　もとめましょう。

（しき）

14 ＋ 8 ＝ 22（ひき）

22 ＋ 2 ＝ 24（ひき）

こたえ［ 24ひき ］

(2) まとめて　たして　もとめましょう。

（しき）

8 ＋ 2 ＝ 10（ひき）…… 入れた数

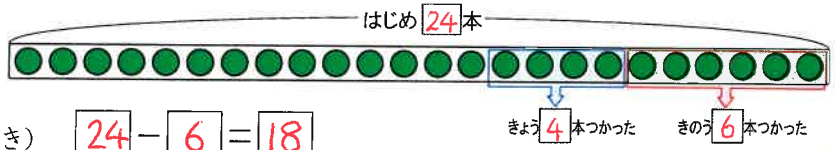
14 ＋ 10 ＝ 24（ひき）

こたえ［ 24ひき ］

◎ 減減の場面について，順に考えたりまとめて考えたりする問題。

3 あたらしい　えんぴつを　24本　買いました。　きのう　6本　つかいました。　きょう　4本　つかいました。あたらしい　えんぴつは　何本　のこっていますか。　（10点×2）

(1) つかった　じゅんに　考えて、もんだいを　ときましょう。



（しき）　24 － 6 ＝ 18

18 － 4 ＝ 14　　こたえ 14 本

(2) つかった　えんぴつの　数を　まとめて　考えて、もんだいを　ときましょう。

（しき）　4 ＋ 6 ＝ 10 …… つかった数

24 － 10 ＝ 14　　こたえ 14 本

4 れいぞうこに　たまごが　20こ　はいっていました。きのう　3こ　つかいました。きょう　5こ　つかいました。れいぞうこの　たまごは　何こに　なりましたか。つかった　たまごの　数を　まとめて　考えましょう。　（15点）

（しき）

3 ＋ 5 ＝ 8（こ）…… つかった数

20 － 8 ＝ 12（こ）

こたえ［ 12こ ］

5 ちゅう車場に　車が　23台　とまっていました。そこへ　5台　入ってきました。また　5台　入ってきました。　ちゅう車場の　車は　何台に　なりましたか。入ってきた　車の　数を　まとめて　考えましょう。　（15点）

（しき）

5 ＋ 5 ＝ 10（台）…… 入ってきた数

23 ＋ 10 ＝ 33（台）

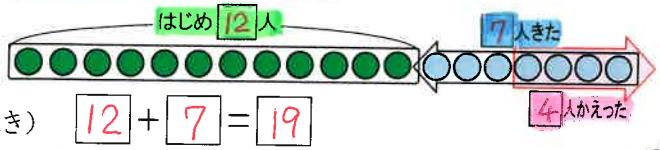
こたえ［ 33台 ］

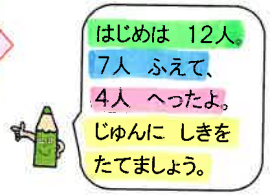
◎ 増減の場面について，順に考えたりまとめて考えたりする問題。

42	基本	図を使って考えよう(2)	ふえたり へったり	学習日	／

1 公園に 子どもが 12人 いました。そこへ 7人 来ました。 そのあと 4人 帰りました。 公園の 子どもは 何人に なりましたか。 （10点×2）

(1) できごとの じゅんに 考えて、もんだいを ときましょう。

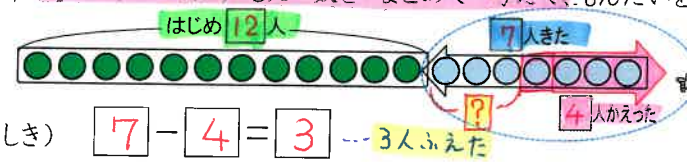


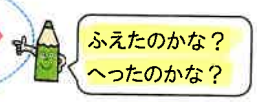


（しき） 12 + 7 = 19

19 − 4 = 15　　こたえ 15 人

(2) ふえたり へったり した 数を まとめて 考えて、もんだいを ときましょう。





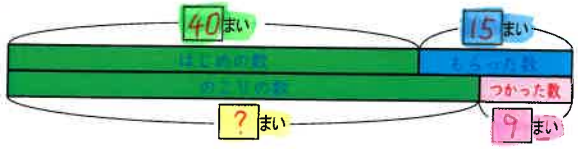
（しき） 7 − 4 = 3 ---- 3人ふえた

12 + 3 = 15　　こたえ 15 人

2 かいとくんは 色紙を 40まい もっていました。きょう 15まい もらいましたが、9まい つかいました。色紙は 何まいに なりましたか。 （15点×2）

(1) できごとの じゅんに 考えて、もんだいを ときましょう。

（しき）



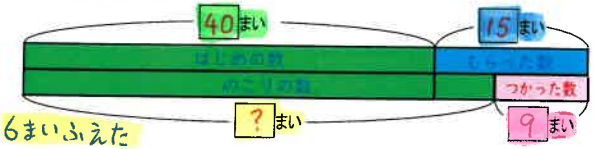
40 + 15 = 55

55 − 9 = 46（まい）

こたえ［ 46まい ］

(2) ふえたり へったり した 数を まとめて 考えて、もんだいを ときましょう。

（しき）



15 − 9 = 6（まい） ---- 6まいふえた

40 + 6 = 46（まい）

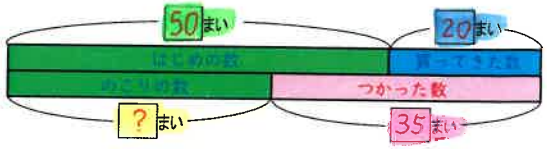
こたえ［ 46まい ］

◎ 増減の場面（いろんなパターン）の問題。

3 はるなさんは 色紙を 50まい もっていました。きょう 20まい 買ってきましたが、35まい つかいました。色紙は 何まいに なりましたか。 （10点×2）

(1) できごとの じゅんに 考えて、もんだいを ときましょう。

（しき）



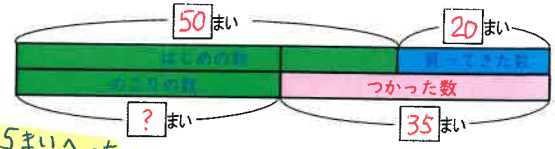
50 + 20 = 70

70 − 35 = 35（まい）

こたえ［ 35まい ］

(2) ふえたり へったり した 数を まとめて 考えて、もんだいを ときましょう。

（しき）



35 − 20 = 15（まい） ---- 15まいへった

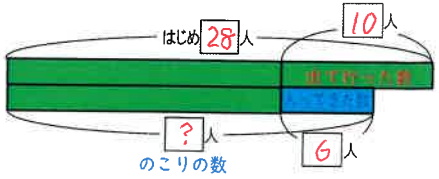
50 − 15 = 35（まい）

こたえ［ 35まい ］

4 きょうしつに 生とが 28人 いました。そのあと 10人が 出ていきましたが、6人が 入ってきました。きょうしつにいる 生とは 何人に なりましたか。 （15点）

3-(2)の 考えかたで ときましょう。

（しき）



10 − 6 = 4（人） ---- 4人へった

28 − 4 = 24（人）

こたえ［ 24人 ］

5 にわに すずめが 16わ いました。そこへ 13わ やってきました。その あと 4わ とんでいきました。にわに いる すずめは 何わに なりましたか。

3-(2)の 考えかたで ときましょう。 （15点）

（しき）

13 − 4 = 9（わ） ---- 9わふえた

16 + 9 = 25（わ）

こたえ［ 25わ ］

◎ 増 増の場面をもとに，加法の結合法則が成り立つことに気づく。

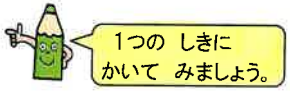
43	基本	しきと　計算	（　）を つかった しき	学習日	／

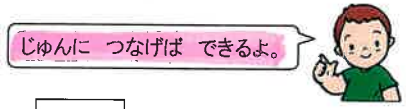
1 校庭に 子どもが 18人 いました。そこへ 7人 来ました。 また 3人 来ました。 子どもは 何人に なりましたか。 （10点×4）

(1) はるきくんは、じゅんに たして 答えを もとめました。どのように 計算したので しょうか。□に あてはまる 数を かきましょう。

（しき） 18 ＋ 7 ＝ 25 …①

25 ＋ 3 ＝ 28 …②





◉[1つのしき]

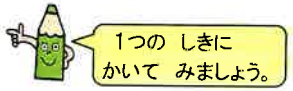
18 ＋ 7 ＋ 3 ＝ 28　　こたえ 28 人

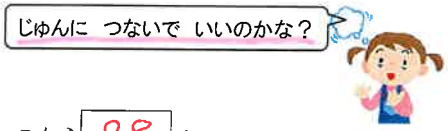
①25　②28

(2) さつきさんは、まとめて たして 答えを もとめました。どのように 計算したので しょうか。□に あてはまる 数を かきましょう。

（しき） 7 ＋ 3 ＝ 10 …①

18 ＋ 10 ＝ 28 …②





◉[1つのしき]

18 ＋ (7 ＋ 3) ＝ 28　　こたえ 28 人

①10　②28

まとめ

まとめて 考える しかたは，（　）を つかって 1つの しきに かく ことが できます。（　）の 中は さきに 計算します。

◎ 加法の結合法則，（　）を使った 式の計算順序がわかる。

2 つぎの ①，②の 2つの しきの 答えは 同じに なります。計算を して、たしかめましょう。 （3点×4）

(1) ① 13＋8＋2 と， ② 13＋(8＋2) の 答えが 同じに なること。

① 13＋8＋2＝23　（21）　　② 13＋(8＋2)＝23　（10）

(2) ① 47＋4＋6 と， ② 47＋(4＋6) の 答えが 同じに なること。

① 47＋4＋6＝57　（51）　　② 47＋(4＋6)＝57　（10）

3 つぎの 計算を しましょう。（　）の中を さきに 計算しましょう。 （3点×6）

① 34＋(7＋3)＝44　（10）　　② 79＋(8＋2)＝89　（10）

③ 25＋(3＋2)＝30　（5）　　④ 63＋(2＋5)＝70　（7）

⑤ 47＋(15＋5)＝67　（20）　　⑥ 53＋(16＋4)＝73　（20）

4 えんぴつと 画用紙を 買いました。 みんなで 何円ですか。 （10点×2）

(1) じゅんに たして もとめましょう。

（しき） 70＋20＋10＝100（円）

こたえ［ 100円 ］

(2) 画用紙の ねだんを まとめて、（　）の しきを つかって もとめましょう。

（しき） 70＋(20＋10)＝100（円）　（30）

こたえ［ 100円 ］

5 ゆかりさんは シールを 45まい もっていました。きょう、お姉さんから 6まいと、ともだちから 4まいもらいました。シールは ぜんぶで 何まいに なりましたか。（　）を つかって しきに かいて もとめましょう。 （10点）

（しき） 45＋(6＋4)＝55（まい）　（10）

こたえ［ 55まい ］

◎ 数量の相等関係や大小関係を 等号や不等号を使って式に表すことができる。

44	基本	しきと 計算	>, <, = を つかった しき	学習日	／

1 けしゴムを 1こと、えんぴつを 1本 買(か)います。 (8点×3)

(1) 80円の けしゴムと 80円の えんぴつは 150円で 買えますか。

(しき) 80＋80＝160(円)

こたえ[買えません。]

(2) 80円の けしゴムと 70円の えんぴつは 150円で 買えますか。

(しき) 80＋70＝150(円)

こたえ[買えます。]

(3) 80円の けしゴムと 60円の えんぴつは 150円で 買えますか。

(しき) 80＋60＝140(円)

こたえ[買えます。]

◉ 上で しらべた ことは、下の ような しきに かく ことが できます。

150は 80＋80より	小さい	150＜80＋80
150は 80＋70と	同(おな)じ	150＝80＋70
150は 80＋60より	大きい	150＞80＋60

2 □に「>, <, =」の 記号(きごう)を 入れて、しきに しましょう。 (4点×6)

① 80＋50 $\boxed{>}$ 100
130

② 100 $\boxed{>}$ 120－40
80

③ 100 $\boxed{=}$ 170－70
100

④ 100 $\boxed{<}$ 160－50
110

⑤ 30＋40＋20 $\boxed{=}$ 30＋(40＋20)
90 90

⑥ 50＋70＋30 $\boxed{=}$ 50＋(70＋30)
150 150

大 > 小 … 左が大きい。
小 < 大 … 右が大きい。
中 = 中 … 同じである。

◎ 等号・不等号を使った式の練習と応用問題。

3 □に「>, <, =」の 記号(きごう)を 入れて、しきに しましょう。 (8点×3)

(1) 60円の けしゴム 1こと、40円の キャップ 1こを 買うと、ちょうど 100円です。

(しき) 60＋40 $\boxed{=}$ 100
100

(2) 80円の えんぴつ 1本と、70円の えんぴつ 1本を 買おうと 思(おも)ったのですが、100円より たかくて 買えませんでした。

(しき) 80＋70 $\boxed{>}$ 100
150

(3) 40円の ラムネを 1こと、30円の ガムを 1こ 買って、100円はらうと おつりが もらえました。

(しき) 40＋30 $\boxed{<}$ 100
70

4 (れい)に ならって、「>, <, =」の 記号(きごう)を つかった しきを つくりましょう。 (7点×4)

(れい) 160は 70＋60より 大きいです。

(しき) [160＞70＋60]

(1) 160は 100＋60と 同じです。

(しき) [160＝100＋60]

(2) 160は 100＋100より 小さいです。

(しき) [160＜100＋100]

(3) 180－30は 100より 大きいです。

(しき) [180－30＞100]

(4) 50は 120－50より 小さいです。

(しき) [50＜120－50]